

葛飾フットサルリーグ速報

第5節

K1リーグ		
MXPX	6対2	大江戸FC
チームイサカ	5対3	いいいちこ
不夜城	9対4	タコ
ときわそう	6対6	不夜城
ときわそう	9対1	FREEDOM
黄金世代	2対2	FREEDOM

K2リーグ		
ASC	3対2	FREEDOM
ホソヤ	5対4	串かつ新小岩
ASC	0対6	FRREDOM
野人	6対2	Y'z
酒乱	7対4	Y'z
野人	3対2	FREEDOM

K3リーグ		
SHIROHIGE	7対0	サウスクラブ
ボンビーズB	9対3	サウスクラブ
プラチナSTYLE	3対2	SHIROHIGE
ばるたん	4対3	T-BRONZE
八木さん一家	6対0	FREEDOM
八木さん一家	6対5	ばるたん
キングジョー	9対2	ういるす

順位

K1リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、MXPX	15	↑	5連勝！！
2、黄金世代	10	↓	相手に合わせた
3、イサカ	9	↑	危なかった
4、ときわそう	7	→	後半追い込み
4、不夜城	7	→	満身創痍
6、大江戸FC	4	↓	惜敗
7、タコボーズ	3	↓	就活疲れ？
8、いいいちこ	1	↓	苦しめたが

K2リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、野人	15	↑	首位強奪！！
2、酒乱	13	↑	どこからでも
3、ホソヤ	12	↑	最後まで！！
4、串かつ	6	↓	最後まで！！
5、ASC	4	→	1勝1敗
6、サウスクラブ	3	↓	頑張り
7、Y'Z	0	↓	苦しい
8、募集中			

K3リーグ			
	勝点	動向	つぶやき
1、プラチナ	15	↑	追い上げられた
2、ういるす	9	↓	休憩・・・
2、SHIROHIGE	9	↓	惜しかったが
2、キングジョー	9	↑	快勝
2、ボンビーズ	9	↑	弟デビュー
6、ばるたん	6	↑	逆転勝利！！
6、八木さん	6	↑	2連勝
8、T-BRONZE	0	↓	またも逆転負け

K1リーグ

MXPX 対 大江戸FCの対戦は、序盤からMXが、ポストプレーやファー詰めなど多彩な攻撃で大江戸守備陣を崩していった。中盤にかけてもMXのバリエーション豊富な連携プレーをみせ流れを大江戸に与えなかった。終盤にかけ大江戸のカウンターも火を噴いたが、MX守備陣押さえ込まれる形となった。

チームイサカ 対 いいいちこの対戦は、イサカ得意のパス攻撃でいいいちこ最終ラインを何度も崩していったが、キーパー山田のファインセーブでイサカ攻撃陣を苛立たせた。攻撃でもいいいちこ得意の速攻が決まりイサカにプレッシャーを与えた。終盤イサカのパスワークが勝り、勝利した。

不夜城 対 タコボーズの対戦は、序盤タコボーズの速攻から先制点を挙げいつもと違う展開をみせたが、不夜城原田が直ぐに同点弾を叩きだした。中盤にかけて、怪我で原田がリタイアしたものの鈴木を軸に得点を積み上げタコを突き放し、快勝となった。

不夜城 対 ときわそうの対戦は、序盤不夜城の早い攻撃にときわそうが、対応しきれず3失点を許してしまった。ときわ竹石の豪快ミドルで1点を返し踏みとどまった。中盤試合が一変し、ときわ飯島、古川を中心にボールを組み立て同点に追いついた。終盤両チーム得点を積み上げ痛み分けとなった。

黄金世代 対 FREEDOMの対戦は、黄金本来の早い攻撃がみられず、個人技で状況を打開しようと展開するもFREEDOMの運動量も豊富ということもあり中々攻め崩すことができなかった。中盤黄金1点リードのまま試合が、展開していったがやはりゲームスピードが上がらず苦しい展開となった。終盤一瞬の間をつかれ同点ゴールを献上してしまい無念のタイムアップとなってしまった。

K2リーグ

ASC 対 FREEDOMの対戦は、序盤FREEDOMが運動量をフルに生かし、コートを広く使いASCディフェンスを広げることに成功しリードする展開となった。中盤にかけてASCのパスが効果的に嵌まり出し、徐々にFREEDOMを追い込んでいった。終盤、ASC川崎の目の覚めるミドルがホソヤゴールに突き刺さり逆転勝利となった。

ホソヤ 対 串かつ新小岩マンの対戦は、序盤ホソヤが早いテンポでボールを回し、串かつディフェンスが整う前に得点を積み上げていった。中盤串かつのディフェンスラインが整うと展開が、一気に変わり串かつの個人技から得点を積み上げ一気に逆転。突き放し勝利有りかと思われたが、ホソヤ竹内が奮起し再度同点、逆転ゴールを挙げ劇的勝利をあげた。

野人 対 Y'zの対戦は、序盤Y'zのボールキープ率が高かったものの野人の早い攻撃に失点を重ねた。野人北岸の華麗なボレーシュートが決まると一気に流れが野人に流れ勢いを止めることができなかった。中盤でも野人遠藤がミドルレンジからシュートを狙いダメ押し点を入れ野人の快勝となった。

酒乱 対 Y'zの対戦は、序盤酒乱板倉の豪快ミドルが、右サイド左サイドからと自由自在に切り裂いた。一気に酒乱ペースとなり、どこからでも得点が狙える強さが際立った。途中キーパー廣野が、オーバーラップ中にインターセプトされ危うい場面も愛嬌に思えるほど圧勝となった。

K3リーグ

キングジョー 対 ういるすの対戦は、いつもの速攻キングではなく、じっくり溜めて攻めういるすを翻弄した。ういるす岸も好調をキープしミドルシュートを決め追い上げをみせたが、キングキーパーのファインセーブに合い流れを変えさせなかった。終盤キングの攻撃がういるすディフェンス陣を縦、横にと苦しめキングの快勝となった。

K3リーグ

SHIROHIGE 対 サウスクラブの対戦は、序盤からSHIRO伊藤を軸にパスを繋ぎ怒涛のゴールラッシュをみせた。守ってもサウスクラブにバイタルエリアにすら侵入させず完璧な守りを披露した。終始パスと運動量でサウスを圧倒しSHIROHIGEが、圧勝した。

ボンビーズB 対 サウスクラブの対戦は、ボンビーズは先シーズン得点王の菅原をキーパーに配置余裕の立ち上がりとなった。中盤大量リードしながらもサウス中川、田上と連続ゴールを許すと嫌な展開に成りかけたが、エース市川がサウスを突き放す得点を決め勝利を決定つけた。

プラチナSTYLE 対 SHIROHIGEの対戦は、序盤プラチナの早いパス回しにSHIROが、対応できず先制を許した。中盤にかけてパスコースを限定できたSHIROが、反撃に転じ拮抗した展開となった。終盤、運動量の途切れないプラチナ森が逆サイドをしっかりと詰め決勝点をあげた。

T-BRONZE 対 ばるたんCLUBの対戦は、序盤ばるたんのスルーパスからT-BROの裏を効果的に突き先制点を挙げたが、T-BROも得意の速攻で同点と逆転に成功した。中盤拮抗した展開のなか徐々にばるたんの運動量が勝りだし、突き放されたがT-BROも粘りみせ驚異的な追い上げをみせたが、後1点追いつかなかった。

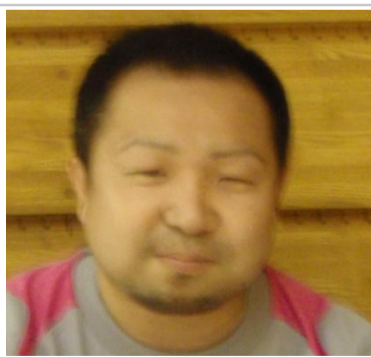
八木さん一家 対 FREEDOMの対戦は、序盤から高い個人技でボールをキープしFREEDOMを寄せ付けなかった。高速ゲームを苦手としている八木さんとしては、スローペースのFREEDOMは戦い安かったのか圧倒的な支配の結果、勝利した。



MVP ASC
川崎 教信選手
またシュート打ちたいです。



MVP ボンビーズB
市川 弟選手
もう悪いことしません。
仲男ケータイ有難う！！



MVP 八木さん一家
中村 和靖選手
頑張ります。



MVP ときわそう
渡辺 重昭選手
また頑張ります。



MVP 野人
北岸 淳選手
やりました。